



槻の若木

「困難は分割せよ」

校長 松井育夫

体育祭・中間テストが終わり、そして学校総合体育大会(6/3～)とあわただしい日々が続いています。体育祭では平日の開催となりましたが、616名の保護者・地域の方が参観してくださいました。3年生を中心に白熱した競技を繰り広げることができましたが、お子様の全力の取組に感動された方も多かったのではないのでしょうか。温かいご声援に対しまして、改めて御礼を申し上げます。

さて、6月はさいたま市教育委員会が設定しています「いじめ撲滅強化月間」です。これは各学校で、いじめに対する意識を高め、豊かな人間性や社会性を育む取組の充実を図るなど、いじめの未然防止に向けた取組を推進することとなっています。本校では、生徒会本部による太田小校門でのあいさつ運動(毎週木曜日)や岩槻小でのあいさつ週間への参加、児童生徒啓発用ポスターを活用した、いじめ撲滅に向けた学級スローガン作り等に取り組んでいきます。生徒には「心と生活のアンケート」(年間3回)や簡易アンケート(年間2回)を実施していきませんが、悩みや不安がある場合は、遠慮なく担任やさわやか相談室等へご連絡ください。

さて、今の子どもはとても忙しいとよく言われます。学習塾や習い事、部活動等、時間に追われているところが実情でしょう。我々教職員も同様で、やらなければならない仕事がどんどん増えて



ています。過日、ある本にこんな言葉が載っていましたので紹介します。井上ひさしさんという小説家・劇作家として幅広く活躍されている方の言葉です。「仕事がうまくいかないときには、この言葉を思い出してください。『困難は分割せよ』あせってはなりません。問題を細かく割って、一つ一つ地道に片づけていくのです。」

私たち現代人はとかく「時間がない」「忙しい」という中で生活しています。時として、やらねばならないこと(仕事の量)と物理的な時間を比較して、圧倒され、何から手を付けてよいかわからず、不安の中で時を過ごしてしまう場合も少なくありません。そんな中、大人の世界では、よく「仕事はたくさん抱えてこなしている人に頼め」と言います。これは、暇そうにしている人に頼んだために、かえって修復に時間がかかり、うまくいかないことがあるからです。多くの仕事をこなしている人は、うまく「困難を分割」していると思われるます。ちょっとした間に情報を集めたり、メモして整理する。何が最重要課題であり、仕事に取り掛かる順番をつけていき、迅速に取り掛かる……。つらい仕事で弱音を吐くより、どうすれば乗り切れるかとプラス思考でいくことが大切だと思います。生徒の皆さんも時間を上手に使う「困難を分割」してみてください。

☞学校総合体育大会に臨むに当たり、選手に必要とされる「5つのC」を大切に
3年生最後の大会頑張ろう!! ー前任の小林成行校長からー

1	コンディション	健康状態	condition
2	コントロール	自己抑制	control
3	コンフィデンス	自信	confidence
4	コンティニュー	持続	continue
5	コンセントレーション	集中	concentration